

伝統と最先端技術を融合する めっき技術の先駆者

株式会社ヒキフネ

当社は、80年以上の歴史を持つ、めっき加工の老舗企業です。工芸品のめっきから始まり、服飾、建築、デジタル製品と、様々な業種のニーズに対応してきました。近年は、独自開発のめっき処理を応用した、電子機器、通信機器、精密電子部品などの微細めっきを得意分野としています。また材料調達から各種加工、めっき加工、試作・量産までワンストップで対応しています。



事業内容 技術特徴

- 培ってきた独自のめっき技術を伝承すると共に研究開発にも注力
- 光ファイバーのメッキ加工のパイオニアとして世界に進出
- 材料調達から金型製作、加工に至る一貫生産体制を構築(試作・量産に対応)

めっき加工

複数のめっきの色を組み合わせるハイプレートや、10~15ミクロンのめっきをセンチ単位まで厚くする肉盛電鍍など、当社には多彩なめっき技術があります。この長年培ってきた技術やノウハウを活かし、お客様のご要望(素材、寸法精度、耐食性、撥水性、潤滑性、高硬度等)にそった高品質なめっき加工を実現しています。

【事例1】鞆金具



【事例2】建築金物



【事例3】黒色無電解Ni

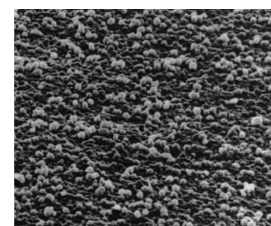


【事例4】自動車向けシフトダイヤル



潤滑、摩耗、非粘着性に優れた表面処理(擦れ合う製品への適応)

無電解ニッケルめっきにテフロン微粒子(0.2~0.3μm)を複合化させることで、表面上をめっきとテフロンが共存したかたちで形成。滑り性、撥水性に加え、低加重下での耐摩耗性・摺動性にも優れためっきです。

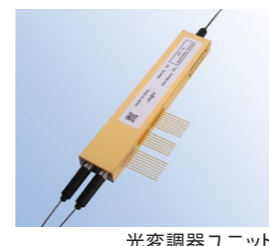
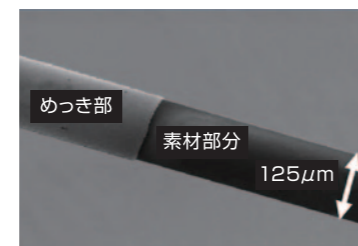


テフロン微粒子共析無電解Ni-Pめっき



光ファイバメタライズ

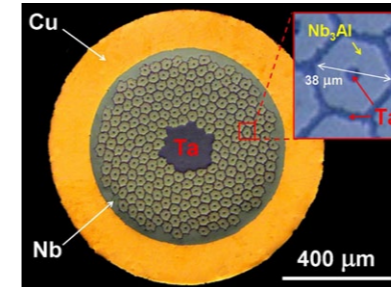
当社が独自開発したガラスファイバーへのめっき技術です。メタライズファイバーは、変調器やAWGなど、光デバイスの気密封止をより信頼性の高いスペックで保証可能。通信容量の拡大に伴い、今後もより必要とされる技術です。



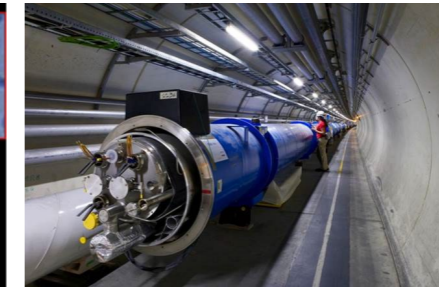
光変調器ユニット

超電導線への高速Cuめっき(国家プロジェクト)

将来のエネルギー問題を究極的に解決する核融合発電炉や物質の成り立ちを探索する高エネルギー粒子加速器への応用は重要であり、大型で強磁場を発生する超伝導マグネット導体素線として急熱急冷変態法 Nb₃Al 線材の開発が強力に推進されています。超伝導状態を安定化するために、Nb₃Al線材に高純度・高効率で純銅を強固に複合する技術が必要となっています。当社では、物質・材料研究機構、フェルミ国立加速器研究所(米国)との共同研究において、高速銅めっきの技術を開発。「第14回超伝導科学技術賞(未踏科学技術協会)」を受賞しています。



150μm銅めっきした超電導線材



セルンの高エネルギー粒子加速器

めっき装置開発



当社は、めっき専門のノウハウを活かし、小型(10~50L程度)のめっき装置を製造しています。不具合の再現テストや新しい処理液のテストなどが内製化できます。

東京スカイツリーブックマーカー

このブックマーカーは一般社団法人墨田区観光協会による「東京スカイツリー地域優遇策商品化ライセンス」を得て商品化したものです。スカイツリーを背景に、春のうららの桜に夏の花火と墨田区の風物詩を精密エッチング法で再現したブックマーカーは、金・銀・銅の3色めっき仕様。区内のセブンイレブン各店をはじめ、墨田区内限定で発売中です。



当社は、いち早く生産技術部門・研究開発部門をスタートさせ、つねに新しいテーマを追い求め、実験・現場導入を行ってきました。生産技術は製品の工程内での作り込みを目的に、前処理及びめっき液などの分析・管理をサポートし、様々な環境試験を行えます。また、分析・解析機器も整備し、特に表面観察装置は充実しています。研究開発では、国の研究機構や公設の工業技術センターなどからの委託研究、基礎的な研究を行っています。つねに新しいシーズを求め、大学や研究所と技術交流、共同研究を進めています。こうして培われた最先端のめっき技術を活用し、お客様の様々なご要望にお応えしています。

株式会社ヒキフネ

〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木二丁目4番12号
TEL. 03-3696-1981(代表) / FAX. 03-3696-4511

2017年9月作成



■主要設備

- 半自動静止めめっきライン ●手動静止めめっきライン
- 貴金属静止めめっきライン ●半導体用硬質金めっき
- ガラスファイバーめっきライン
- 手動パレルめっきライン
- Hiフロンめっきライン ●無電解Niめっきライン
- 3価クロムめっきライン ●専用めっきライン

■会社概要

社名	株式会社ヒキフネ
代表者	代表取締役社長 石川 英孝
設立	1932年5月
資本金	2,400万円
所在地	〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木2丁目4番12号
連絡先	TEL. 03-3696-1981(代表) FAX. 03-3696-4511
URL	http://www.hikifune.com/
事業内容	精密めっき(無電解ニッケル、潤滑めっき・複合めっき) 半導体部品の金・銀、錫ほか各種のめっき 超精密・微細パターン転写技術と金型製造
主要取引先	デジタル機器・家電部品、電気・電子部品、自動車部品、通信部品関連、精密部品、産業機器部品、半導体関連、アミューズメント、アパレル関連等の企業(約500社)

■会社沿革

1932年	石川義信がヒキフネめっき工場を創業主業務として金杯など輸出向け装飾めっきを行う
1972年	装飾品販売部門として「(株)ヒキフネ金属工業」設立
1975年	パレルめっき部門新設
1978年	技術部・デザイン部設立
1981年	ハイプレート(2色のめっき)開発、財布、アパレル(株)ヒキフネ技研設立、パレル、無電解、潤滑めっき部門を移管
1995年~	建築金物を金型、鋳造、めっきを一貫受注
1999年	FP(精密金めっき)部新設、接点端子や光ファイバー
2004年~	携帯電話、デジカメ部品のめっき増大
2011年	CIを実施
2012年	創立80年
2014年	自動車部品参入
2016年	複写機エンジン部品専用ライン新設・量産開始